

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	人間ドック受診者における腸内細菌の民族差および影響を与える背景因子についての検討 [倫理審査受付番号：第 4986 号]
研究責任者氏名	富田 寿彦
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2025年3月25日 ~ 2028年3月31日
研究の対象	以下に該当する受診者さんを研究対象とします。
	検査名：腸内フローラ検査 / 診療科名等：兵庫医科大学梅田健康医学クリニック
	受診日：西暦 2022年 10月 1日 ~ 2024年 12月 31日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 カルテ情報 アンケート その他(腸内細菌分析結果)
	取得の方法： 診療の過程で取得 その他(健診の過程で取得)
研究目的・意義	<p>ヒトの腸には多種多様な細菌が共生しており、腸内フローラとも呼ばれる細菌の叢(くさむら)を形成しています。腸内細菌は様々な病気と関連することが報告されており、病気によって腸内フローラのバランスに変化が観察されます。その変化は民族によって明確な違いがあり、ある国で得られた知見をそのまま他国に当てはめることは困難と考えられています。また、ヒトにとって有益な作用をもたらす微生物(プロバイオティクス)を摂取することは様々な病気で症状の軽減や予防に有用であることが報告されており、便秘についてはガイドライン(便通異常症診療ガイドライン 2023)にもその有用性が記載されています。</p> <p>一方で、腸内フローラの組成は病気のない人でも個人間や人種間で異なり、食事や習慣など様々な因子によって影響を受けていると考えられています。しかし、異なる民族の間で食事や薬、習慣などの要素と腸内フローラの組成の違いを直接比較して調査した報告はほとんどなく、プロバイオティクス摂取による腸内フローラのバランスの変化が民族によって異なるのかどうかは分かっていません。この研究では人間ドックで腸内細菌分析の検査を受けら</p>

	<p>れた方の腸内細菌の組成と習慣などの要素を調べ、比較することで、民族による違いの有無や、違いを生じる要素を明らかにすることを目的としています。それによって、健康増進・予防医学の点において非常に有用な知見を得られると考えられます。</p>
<p>研究の方法</p>	<p>人間ドックでの腸内フローラ分析検査の検査結果と、食習慣などについてのアンケートの結果を解析し、その違いを調査します。腸内細菌叢解析結果およびアンケート結果は民族別にグループ分けして集計し、グループ間での菌の割合に基づく組成の違いと習慣の違いを比較検討します。また、各グループ内でも同様の解析を行い、その民族における腸内細菌組成の違いと習慣との関連を調べます。</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
<p>本研究に関する連絡先</p>	<p>診療科名等：健康医療学 担当者氏名：富田 寿彦（主任教授） [電話]（平日 9 時～17 時）0798 - 45 - 6662（医局） （上記時間以外） 0798 - 45 - 6111（大代表）</p>